



あらかわ

社協だより

No.260

令和6年2月15日



ひらりちゃん
荒川社協キャラクター

区内の地域福祉情報はこちらから▶荒川社協ホームページ <https://www.arakawa-shakyo.or.jp/> E-mail info@arakawa-shakyo.or.jp
発行:社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 〒116-0003 東京都荒川区南千住1-13-20 TEL:03-3802-2794(代) FAX:03-3802-3831

ホームページ フェイスブック

「歳末たすけあい・地域福祉募金」へのご協力ありがとうございます! 募金総額11,012,846円

昨年12月の歳末たすけあい運動では、町会・自治会や民生委員・児童委員、ボランティアの皆様、さらには区内企業や多くの団体の皆様などたくさんの方々にご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

町会・自治会を通じての募金活動は、数年間自粛をされていた戸別募金を再開して下さる町会や自治会も多く、前年を大きく上回る募金をお寄せいただきました。

また、12月4日(月)~7日(木)の間に行われた街頭募金では、風が強く大変な寒さの中、各地区の民生委員・児童委員の皆様や区立第一中学校、第三中学校、第四中学校、南千住第二中学校、原中学校、尾久八幡中学校、諏訪台中学校の生徒、引率の先生などのご協力いただきました。



【募金内訳】

■ 町会・自治会	9,243,294円
■ 団体・学校・企業	1,215,830円
■ 街頭募金	368,966円
■ 個人・その他	184,756円

お寄せいただいた募金の一部を原資として、年度末から年始までの間、区内在住のひとり暮らし高齢者1,830名・在宅障がい児296名の方々を対象に、民生委員・児童委員の皆様を通じてギフト券の配付を行いました。それ以外の募金額は、令和6年度に実施される区内の地域福祉活動で大切に活用させていただきます。

……子どもたちと高齢者との年賀状交流……

令和4年12月の歳末たすけあい・地域福祉募金を活用して、「子どもたちと高齢者との年賀状交流」を実施しました。今回は、区内の小学校20校、中学校8校、都立高校1校、私立中高校1校に協力いただき、高齢者みまもりネットワーク事業に登録している75歳以上の方4,751名に児童・生徒が作成した年賀状をお送りしました。

新年を迎え、年賀状が届いた高齢者やそのご家族から、「心のこもった、かわいい賀状ありがとう。」「笑顔があふれる健やかな一年になりますように。」「かわいらしい絵がたくさん描いてあり、今年も元気で過ごせそうです。」など心温まるお礼状やお電話が数多く届きました。いただいたお礼状は学校にお送りします。子どもたちにとって大きな励みになることと思います。今年も、この年賀状が高齢者と子どもたちとの交流のきっかけとなることを願っています。

<年賀状を作成した小・中・高等学校>

小学校20校

瑞光小学校・第二瑞光小学校・第三瑞光小学校・汐入小学校・汐入東小学校・第六瑞光小学校・峡田小学校・第五峡田小学校・第七峡田小学校・第九峡田小学校・尾久小学校・尾久西小学校・尾久第六小学校・赤土小学校・大門小学校・尾久宮前小学校・第二日暮里小学校・第三日暮里小学校・第六日暮里小学校・ひぐらし小学校

中学校8校

第一中学校・第三中学校・第五中学校・第七中学校・第九中学校・尾久八幡中学校・南千住第二中学校・原中学校

高等学校校1校

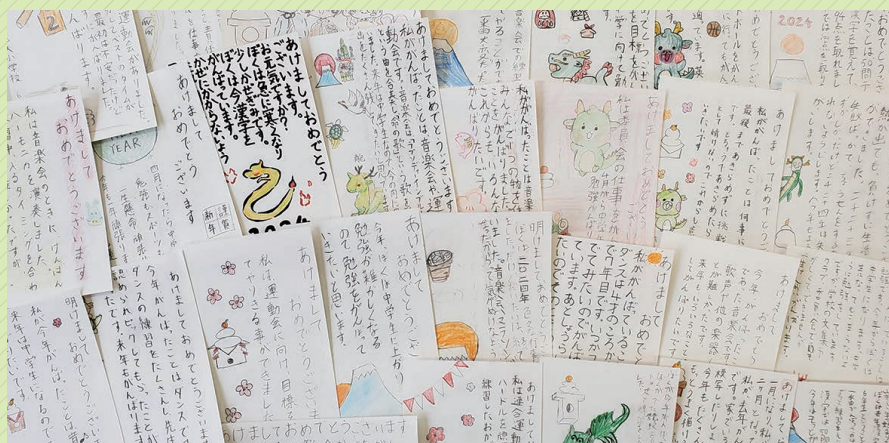
都立竹台高等学校

私立中学・高等学校1校

北豊島中学校・高等学校

<年賀状送付対象者>

75歳以上の高齢者 みまもりネットワーク事業登録者4,751名



児童・生徒が作成した年賀状



荒川区社会福祉協議会
会長
笠島伸介

一月一日に起きた令和六年能登半島地震で被災された多くの皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

荒川区社会福祉協議会では、区内ボランティアからの呼びかけを受け、一月四日は「荒川区新年祝賀会」、二十日には「あらかわ遊園」において募金活動を行いました。また、それを皮切りに、今後も被災地支援のための募金活動等に取り組んでまいります。

御礼が遅くなりましたが、昨年十二月の「歳末たすけあい・地域福祉募金」では、多くの区民の皆様から、地域活動に温かな思いやりとご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。能登半島地震の募金活動につきましても、変わらぬご支援をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が五類に移行した令和五年は、区内でも多くの地域活動が「再開(リスタート)」することができました。「ふれあい活粋サロン」では、すでに八十以上のサロンが活動しています。

また、十一月の「あらかわ福祉まつり」は、コロナ禍以前の規模に戻し、民生委員・児童委員の方々をはじめ、福祉団体、当事者団体、関係機関、ボランティアの方々のご協力により、約4,500人にご来場いただき盛大に実施することができました。

当会といたしましては、このような様々な活動を通して、平時からの地域とのつながりを大切に、区民の皆様とともに「誰もが安心して暮らし続けられる街」への取り組みを進めてまいります。

これからも、一層のお力添え何卒よろしくお願いいたします。

令和5年度 地域福祉活動助成金の交付先団体を紹介します

この助成は、区民が中心となって地域福祉活動やボランティア活動等を行う団体を支援する事業で、そうした様々な団体の地域での活動の発展をとおり、「誰もが安心して暮らし続けられる街」を構築していくことを目的としています。

今年度は、令和4年度の歳末たすけあい・地域福祉募金の一部を原資として、13の団体が実施する事業活動を対象に、各事業の総事業費の4分の3を上限として助成金を交付しました。

助成対象となった団体の掲げるテーマや活動内容について、紹介します。

区民の皆様から寄せられた募金を活用して、地域の皆様とともに応援していきます。

なお、各団体のより詳細な内容につきましては、荒川区社会福祉協議会 地域ネットワーク課までお問い合わせください。



女性・不登校

荒川区不登校支援えふリズム

不登校のお子さんやそのご家族の相談会や交流会を実施するとともに、サポートに必要な情報交換や支援団体との連絡などを行っています。

ママ*カフェ クローバー

女性が抱える子育てや介護等の悩みに寄り添い、ホッとひと息つける居場所をつくるため、カフェでの悩み相談会やセミナーなどを行っています。

荒川手輪の会

手話の学習を通して「聴こえない」人と「聴こえる」人との交流を深めながら、聴覚障がい者団体の行事等への協力なども行っています。



障がい・難病

支援サークル プティパ

発達障がいなど発達に特性のある子の家族を支えるため、専門的な支援者による講演会や勉強会のほか、交流会や相談会などを行っています。

荒川サッカー広場

知的障がいのお子さんがフットサルに親しめるように、プロコーチによる教室や夏合宿などを行い、フットサル大会にも参加しています。



荒川区パーキンソン病友の会

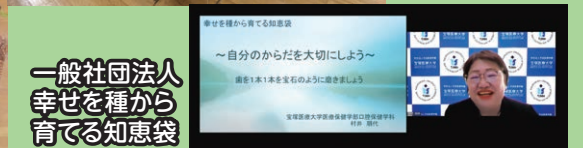
パーキンソン病患者である会員のために、毎月の定例会を通じたりハビリ体操等による体力や健康づくり、そして年1回の医療講演会を行っています。

ピュアハート

ダウン症のお子さんを抱える家族をつなぎ、医療や療育などに関する情報交換を行うとともに、子育てに関する講演会や様々なイベント活動を通し、親や子どもたちの交流を進めています。

一般社団法人幸せを種から育てる知恵袋

知的障がいのある方の健康を守り、地域で幸せに暮らせる未来をつくるため、福祉と医療の融合講座や骨太ナースの育成、知的障がい者のきょうだい会などをしています。



荒川やさしい街づくりの会

車椅子を使用する当事者を中心に、地域のバリアフリー調査や「れくれ(公共交通での街探索)」、小中学校での福祉教育、PC教室の運営、勉強会などを行っています。

あらかわボランティアネットワーク

区内でボランティアを行う個人や団体で構成され、困窮者を支えるパントリーや被災地支援など、その時々ボランティアとして出来ることなどを話し合い、その課題の解決や改善に取り組んでいます。

ボランティア団体

荒川マジッククラブ

マジックの勉強を通じて、生きがいづくりや健康維持に取り組むとともに、区内の福祉施設やサロンなどからの依頼でマジックを披露し、交流を進めています。

あらかわぽっせ

令和4年に立ち上がった若者(学生)の団体です。
※詳細は3面に掲載

あらかわボランティアネットワーク

介護者安心サポート「結」

「介護」をしている人の気持ちに寄りそい、広くサポートするため、介護者同士の交流や情報交換の場を提供するとともに、介護や健康管理等のアドバイスを行っています。



令和6年度の地域福祉活動助成金につきましては、4月1日より募集を開始します。区内で、これからボランティア活動をはじめようという団体や、新たな課題の解決へチャレンジをお考えの団体など、ぜひ事前にご相談ください。皆様からのご相談やご応募、お待ちしております。

施設課

尾久生活実習所(本所・分場)・荒川生活実習所・荒川福祉作業所

施設課では、障がいのある18歳以上の方が通う3つの施設を運営しています。利用者が楽しみにしている行事が、少しずつ再開しました。

宿泊訓練[尾久生活実習所・荒川生活実習所]



今年度から宿泊訓練を再開。この行事は保護者から離れ、仲間や職員とともに過ごし、自立に向けた生活を体験することを目的に実施しています。

いつもと違う部屋で過ごす、コンビニで買い物をする、荷物の準備・片付けをするなど、久しぶりの宿泊訓練で、利用者の喜怒哀楽、様々な表情が見られました。「楽しかった!また行きたい!」という利用者の声もあり、早くも来年の宿泊訓練を楽しみにされている方もいます。

日帰りバスツアー[荒川福祉作業所]



コロナ禍、実施を見合わせていた宿泊企画を、日帰りバスツアーとして実施。大型バスで埼玉県の花園フォレストまで行ってきました。

ランチは秩父名物「わらじかつ&みそポテト!」ボリューム満点でした。食後には、作業所で働いた工賃で、家族や友人へのお土産をたくさん買って帰りました。お天気にも恵まれ、楽しいひとときを過ごしました。

やかまし祭・ふれあい祭(施設公開)[全施設共通]



久しぶりに地域の方を招いての施設公開を行いました。開始前から施設の外で並んでお待ちくださる方もおられ、地域の方々が楽しみにしてくださっていることを改めて感じました。

各施設の利用者は、たくさんの来場者を相手にゲームの説明をしたり、販売を行ったりとそれぞれ自分の役割に取り組みながら、楽しみました。

いつも見守ってくださる地域の方々の応援を感じながら、これからも、利用者の皆様が豊かな時間を過ごせるよう、努めていきます。

地域ネットワーク課

ふれあい粋・活サロン世話人交流会

地域福祉支援係では、ふれあい粋・活サロン(以下「サロン」)を運営されている世話人の方々を対象に、4年ぶりとなる世話人交流会を開催しました。

令和5年11月30日(木)の交流会当日は、サロンを運営されている町会・自治会や民生委員・児童委員、高年者クラブ、ボランティアなどの世話人の方々のほか、高齢者みまもりステーションなど関係者110名が参加されました。

今回の交流会は「笑いと健康」をテーマとし、第1部の講演では、「コミュニケーションラボトリー」代表の池田雅彦氏より、笑いの大切さやコミュニケーションを円滑にする方法などについて、レクリエーションを交えながらお話いただきました。お話を聴くだけでなく、レクリエーションで笑いあったり触れ合ったりしていくうちに、近くに座った世話人さん同士、段々と打ち解けた雰囲気となりました。

第2部は「私の魅力・サロンの魅力」をテーマに、参加された皆様でグループディスカッションを行いました。活動するサロンが別々で、お住いの地域も異なるため、普段は交流することが難しい世話人さん同士も、第1部の講演で打ち解けた雰囲気になったことで話もはずみ、会場全体がとても盛り上がりしました。

参加者の方々からは、「池田先生の話がとても上手で参考になった。参加者の皆さんも熱心でいろいろなお話を聞くことができた。」「初めて参加したが地域活動に熱心な方ばかりなのでとても参考になった。」「同じ地区で活動している他のサロンの方の話も聞くことができてよかった。」といった嬉しいお声をいただきました。



ふれあい粋・活サロンは、コロナ後、新たに9か所のサロンが誕生し、82か所のサロンが活動しています。荒川区社会福祉協議会は、地域の皆様の顔

と顔がつながることを大切に、これからもふれあい粋・活サロンをサポートしていきます。

引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和5年度 リスタート

コロナ禍で滞っていた様々な活動が区内でも動き始めました。荒川社協の各部署から、その活動の一部を紹介します。

在宅福祉サービス課

在宅福祉サービス課には、区民の在宅生活を支援する7つの窓口があります。その一部をご紹介します。

〇にこにこサポート(協力会員の有償活動で利用会員の家事などをサポート)

コロナ禍で利用を遠慮されていた利用会員や活動を自粛されていた協力会員も、今は通常の利用、活動に戻っています。協力会員の講習会では、定員を増やして募集したところ、すぐに満員となり、多くの協力会員が参加して、交流することができました。

〇移動支援(協力会員の有償活動で障がいのある方の移動をサポート)

休校や外出制限でガイドの利用が減っていましたが、通学や通所、余暇活動などコロナ前の利用状況とほとんど変わらなくなりました。ガイドヘルパーの知識・技術向上のためのスキルアップ研修は、変わらずに継続実施しており、利用者の気持ちに寄り添った移動支援を提供しています。

〇荒川区障害者就労支援センター じょぶ・あらかわ [障がいのある方の就職や就労生活、仲間づくりなどをサポート]

じょぶ・あらかわのフットサルチーム「レウニル」が、3年ぶりにフットサル交流大会「あらかわ杯」に参加しました。練習も徐々に再開しており、チーム一丸となって試合に取り組みました。

〇受験生チャレンジ [要件を満たす世帯のお子さんの受験や通塾の費用をサポート]

対面で区民の方と関わる機会が増えたため、受験生チャレンジ事業のイメージキャラクター「チャレニャン」を活用して、事業の周知に力を入れました。福祉まつりではチャレニャンを使った景品をお渡しし、幅広い世代の方にお知らせすることができました。



〇あんしんサポート [必要な方の制度利用や権利擁護などをサポート] (4面に記事掲載)



管理課

地域福祉活動助成金

管理課の業務の一つに歳末たすけあい・地域福祉募金や、それを原資とした地域福祉活動助成金の交付があります。令和5年度に交付した団体から、若者が活躍している団体をご紹介します。

あらかわぼっせは、「アート×居場所×荒川区」を掲げ、アートを通して地域の子どもの居場所を「創る」ことを目指す団体で、運営は全て学生が行っています。アート活動を通じて、地域の子どもたちやそれを支える若者たちの居場所づくりをしていきたいと考えています。

12月17日(日)には、荒川区立生涯学習センターにて「あらかわ子どもアートイベント～みんなでツリーを飾ってみよう」を開催しました。

イベントではクリスマスツリーの装飾を軸に、「言葉のクリスマスプレゼント」「サンタさんへの手紙」「オーナメント作り」の3つの企画を行いました。子どもたちの率直な言葉が綴られたクリスマスプレゼントや、サンタさんへの想いが溢れた手紙、そして思い思いのオーナメントなどの装飾がツリーを彩りました。

参加してくれた子どもたちからの「楽しかった!」という声や、保護者の方からの「こういう活動がある荒川区が大好き」といったありがたいお声もいただきました。イベント開催にあたりご協力いただいた皆様、そして参加して下さった皆様、ありがとうございました。

あらかわぼっせは、こうした定期的なイベント開催のほか、毎週月曜日15:00～17:00の2時間、西尾久にある「地域でつくる寄りどころ」まどお荘の1階をお借りして、こどもや若者の居場所「ぼっせひろば」の活動も始めました。用意された様々な材料を自由に使い、心ゆくまで創作できる場の提供を心掛けています。

これからも、あらかわぼっせの活動に、ぜひご興味やご関心を寄せていただけたら幸いです。



被災地へ息の長い支援を

多くの方々が被害にあわれた「令和6年能登半島地震」。被災地では、今なお生活に様々な困難が続いています。荒川区社会福祉協議会では、募金箱の設置、募金振込口座の開設、街頭募金の活動を行っています。

この募金活動で集まった募金は、被災地への義援金、また被災地の支援活動を行う支援金として、毎月、中央共同募金会を通して被災地へお届けします。

なお、1月中旬に皆様からお寄せいただいた募金は、**義援金333,298円・支援金183,298円、計516,596円**となりました。

募金箱を設置している場所

- 荒川区社会福祉協議会
- 尾久生活実習所本所
- 尾久生活実習所分場
- 荒川生活実習所
- 障害者福祉会館「アクロスあらかわ」
- 地域活動サロン「ふらっと・フラット」
- 汐入おもちゃ図書館
- おぐぎんざおもちゃ図書館 等

募金の振込先(振込手数料がかかります)

城北信用金庫 南千住支店 (普通)6176372
荒川区社会福祉協議会

東日本大震災から13年

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。千年に一度ともいわれた未曾有の災害から、もうすぐ13年が経過します。

現在、荒川社協が把握しているだけでも、区内には15世帯が避難生活を続けており、ひとり暮らしや高齢者だけの世帯、障がいのある方がいる世帯など、支援や見守り等を希望する9世帯に定期的な訪問を行っています。

そうした避難者に支援を続けている方がいます。福井県坂井市にお住まいの田中利男さん。田中さんは、40年近く前に荒川区でお世話になったという思いから、東日本大震災の2年後(平成25年)から、お米や農作物を毎年送ってくださいます。

被災された方には、今後も寄り添い続けていくことが必要です。

能登半島地震についても、ここから息の長い支援が必要となります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



「障がい者就労激励会・長期勤続表彰式」を行いました。

荒川区障害者就労支援センター「じよぶ・あらかわ」は、障がいがある方の就労の機会を広め、安心して働き続けられるように、就労のサポートをしています。

令和5年11月24日にサンパール荒川にて「障がい者就労激励会・長期勤続表彰式」を行いました。「じよぶ・あらかわ」の登録者のうち、長期にわたり就労されている障がいのある方へ、荒川区長からお祝いの言葉と表彰状をいただきました。

表彰対象者65名のうち25名の方と、家族や就労先の会社の方が参加され、表彰式後の懇親会で楽しい時間を過ごしました。



荒川区障害者就労支援センター じよぶ・あらかわ TEL:3803-4510

社会貢献活動

東京荒川ライオンズクラブ

二十歳の集い・思い出の成人式

東京荒川ライオンズクラブでは、区内の障がいのある方たちのための様々なアクティビティを継続して実施しています。

思い出の成人式もその一つです。コロナ禍では中止を余儀なくされましたが、昨年3月、実施できなかった数年間に二十歳になられた方も含め、多くの方をお祝いする式を開催することが出来ました。今年も2月25日に行われます。

思い出の成人式は、障がいのある方の二十歳の節目に、ご本人と親御さんのこれまでの歩みを振り返り、支えて来られた関係者とともにお祝いする会として、今回で17回となります。

地域の皆さんで支える・見守る温かさが感じられる素敵な活動です。



以前に行われた会の様子

“古い支度”の第一歩 今からできることはあるの？

遺言・相続・エンディングノートに関する講座を開催いたします

会場:サンパール荒川 第1集会室
対象:荒川区内在住または在勤の方
定員:各15名(先着順)

古い支度講座(遺言編)

日時:令和6年2月26日(月) 午後2時~午後3時30分
講師:王子公証役場 公証人 廣田泰士氏

古い支度講座(相続編)

日時:令和6年3月1日(金) 午後2時~午後3時30分
講師:東京司法書士会北・荒川支部 相澤司法書士事務所 司法書士 相澤浩輝氏

古い支度講座(エンディングノート編)

日時:令和6年3月7日(木) 午後2時~午後3時30分
講師:荒川区社会福祉協議会 職員

荒川社協 職員募集!

私たちと一緒に働きませんか?

令和6年4月1日付採用

誰もが安心して暮らし続けられる街-互いに支え助け合う「地域力」のあるまちづくりを目指し、ともに働く方を募集しています。

ご連絡をお待ちしています。

TEL:3802-2794 採用担当:中川



詳しくはこちら↑

《申込方法》※事前申し込みが必要です。電話、FAX、E-mailにて、下記までお申し込みください
成年後見センターあんしんサポートあらかわ(荒川区社会福祉協議会内)
TEL:3802-3396 FAX:3891-5290
E-mail koukensoudan@arakawa-shakyo.or.jp



物品寄付者

[令和5年11月1日~令和6年1月14日](敬称略)

日付	寄付者名	寄付物品
11月 1日	苅部 聡	炭酸飲料(コーラ)24本入 4ケース
11月 9日	苅部 聡	男性用衣類 120点
11月13日	有限会社 武井工業所・タケイ工房	トイレットB 備蓄[非常用トイレット]60点
11月18日	一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユウ財団	時計 ポーチ その他グッズ 70点
11月18日	井関農機 株式会社	ポーチ 46点
11月18日	有限会社 中央バフ製作所	ときこち 4点
11月18日	株式会社 インソース	Nintendo Switch 有機ELモデル 1点
11月18日	東京都公衆浴場業生活衛生同業組合 荒川支部	共通入浴券 300枚
11月18日	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	「荒川第九演奏会」チケット 10枚
11月18日	株式会社 ダイオーズジャパン	ドリップ珈琲(3個入) 30ケース
11月18日	一般財団法人 東京広域勤労者サービスセンター	ディズニーギフトカード 2万円分
11月18日	荒川区商店街連合会	区内共通お買い物券 1万円分
11月18日	ヨークフーズ ミノ輪店	コップ お皿 その他ノベルティグッズ 172点
11月18日	日本貨物鉄道株式会社 関東支社 隅田川駅 隅田川機関区	メモ帳 消しゴム その他グッズ 50点
11月18日	株式会社 ADEKA	レトルトカレー 400点
11月18日	荒川区自転車商小売組合連合会	リサイクル自転車 1台
12月11日	匿名	お菓子 レトルト食品等 448点
12月12日	雨谷浩子	車椅子 1台
12月15日	株式会社トーダン	カレンダー 一式
12月18日	銀座ステファニー化粧品株式会社	化粧品 健康食品 オーラルケア製品 7,763個
12月25日	匿名	オムツ 9点
1月 9日	東京電力ホールディングス株式会社	カレンダー・手帳 一式
1月 9日	伊藤忠建材株式会社 職能企画本部サステナビリティ推進室	カレンダー・手帳 一式

善意の寄付者

[令和5年11月1日~令和6年1月14日](敬称略)

日付	寄付者名	金額(単位:円)
11月18日	荒川区介護サービス事業者連絡協議会	30,000
11月18日	荒川区介護サービス事業者連絡協議会	21,596
11月20日	匿名	3,000
11月27日	匿名	100,000
12月 1日	尾久母の会	10,000
12月 1日	荒川区青少年育成尾久地区委員会	30,000
12月 1日	荒川法人会 女性部会	106,410
12月 1日	石神康次	60,000
12月11日	荒川シルバー大学 陶芸教室	30,000
12月14日	菅原眼科クリニック	100,000
12月14日	荒川区更生保護女性会	20,000
12月15日	中村義子	10,000
12月21日	匿名	100,000
12月25日	匿名	50,000
1月 4日	匿名	5,000

善意の寄付者一覧

この度、ご寄付いただきました金品については、荒川区の地域福祉の向上に大切に活用させていただきます。